

公益財団法人 三井住友海上文化財団  
 令和元年度「文化の国際交流活動に対する助成」助成先団体

令和元年7月18日現在

団体名	所在地	団体概要・活動実績	助成対象事業				助成金
			交流相手	交流人数	日程	内容(■印は申請書記載の事業名)	
黒森歌舞伎ポーランド公演実行委員会	山形県	黒森歌舞伎は山形県酒田市黒森地区にて280年以上の伝統を持つ農民芸能であり、山形県の指定民俗文化財となっている。2019年に迎える日本とポーランドの国交樹立100周年を記念して黒森歌舞伎の公演等をポーランドにおいて開催(右記参照)するため、2018年1月に、黒森歌舞伎妻堂連中、黒森歌舞伎保存会、黒森コミュニティー振興会、酒田市からなる実行委員会が設立された。	ポーランド	派遣 41名	2019年11月2日～11月9日(8日間)	■黒森歌舞伎ポーランド公演事業 ポーランドの首都ワルシャワ市において、日本文化や演劇を学ぶ学生向けの公演を1回、一般向けの公演を1回、クラクフ市のマンガ博物館にて公演を2回行うほか、観客とのワークショップを開催する。ワルシャワ市ベモヴォ区においても区民向けのワークショップを開催する。	50万円
大須戸能保存会	新潟県	大須戸能は江戸時代後期に伝えられた山形県庄内地方の黒川能を源流としており、大須戸能保存会は大須戸集落民を構成員として活動し農民芸能としての能狂言を伝承する団体。1955年に新潟県無形民俗文化財に指定され、1999年には国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財となった。国内の定期的な演能のほか、アメリカやドイツでの海外公演の実績も多い。	ドイツ	派遣 12名	2019年7月3日～7月8日(6日間)	■大須戸能保存会・フリードリッヒ・シラー自然劇団国際交流事業 ドイツのパウエルバッツハ村で開催されるフリードリッヒ・シラー生誕260年、フリードリッヒ・シラー自然劇団創設60周年の記念祭に招かれ、祝祭会場で能狂言を演能して日本の芸能文化を発信する。宿泊はホームステイを行い、生活文化面での交流も深める。	50万円
砺波市立出町中学校(吹奏楽部・合唱部)	富山県	吹奏楽部は1957年頃に創設され、直近では2016年に県代表として北陸吹奏楽コンクールに出場、また2017、2018年は北陸代表として全日本マーチングコンテストに出場した。合唱部は2013年創設、2015年から県代表として各種コンクールに出場しており、2016年にはハンガリーのペーラ・バルトク国際合唱コンクール本選で4位を獲得している。	ハンガリー	派遣 75名	2019年8月16日～8月25日(10日間)	■(一社)富山県芸術文化協会 ハンガリー・フラワーカーニバル派遣事業 ハンガリー第二の都市デブレツェンで開催される「フラワーカーニバル」のメインイベント「花のパレード」に吹奏楽部と合唱部が一体となり参加する。吹奏楽のマーチングパレードに合唱が加わることによる新たな音楽表現の誕生、国際交流を通じた技能向上と親善が期待できる。	50万円
輪島高洲太鼓	石川県	輪島市の小中高生を中心に、輪島祭りの伝統である「お祭り囃子」と創作和太鼓を通じ、子どもたちや青少年の健全な育成と地域の発展を目的として2001年に創設された。2017年国民文化祭奈良「太鼓の祭典」への出演、2018年第17回稲城和太鼓コンテスト青少年部最優秀賞受賞等、各種コンテストやコンクールに出場し、好成績を残している。	アメリカ	派遣 14名	2019年8月8日～8月12日(5日間)	■NATC輪島高洲太鼓 太鼓交流会2019 太鼓コミュニティアライアンス(TCA)が主催し、1997年から2年に1度開催される北米太鼓協議会(NATC)に招かれ、期間中に2回のステージ演奏と能登スタイルの和太鼓のワークショップを開く。和太鼓の本場日本ならではの太鼓の魅力を伝えながら、交流を深める。	50万円
伊勢少年少女合唱団	三重県	1975年に創設され、10年間の活動休止後の2007年に再開。2008年から三重県少年少女合唱連盟に所属し、地元中心に活発な活動を展開している。直近は、2018年の名古屋フィルハーモニー交響楽団との共演やF1日本グランプリ(鈴鹿サーキット)での国歌斉唱、マルタ共和国の国際青少年音楽祭に日本代表として出演(右記参照)する等、国内外で活動している。	マルタ	招聘 22名	2019年7月25日～8月1日(8日間)	■国際青少年音楽祭 in 伊勢 2018年にマルタ共和国で行われた国際青少年音楽祭においてSOPA(School of Performing Arts)合唱団と共演、合唱団員の家庭でホームステイも体験した。2019年は伊勢市にSOPA合唱団を招聘し、竈日館や病院、学校での合同の演奏会を開催、日本の生活文化体験の機会も提供する。	50万円
和歌山児童合唱団	和歌山県	1958年に発足、現在、少年少女の部(小学1～4年生)、団員(小学5～高校3年生)の約100名が在籍。過去32回の海外演奏旅行をはじめとして定期演奏会を中心に、年間20回以上の公演を行っている。地元和歌山のわらべ唄や子守唄・民謡等の演奏を積極的に行い、国際コンクールでも優秀な成績を収める等、世界的な児童合唱団としても活躍している。	エストニア	派遣 54名	2019年7月4日～7月10日(7日間)	■エストニア 歌とダンスのフェスティバル(150周年記念) 出演&エストニアラジオ放送少女合唱団とのジョイントコンサートと交流 5年毎に開催している世界最大にして最高の音楽祭「歌とダンスのフェスティバル」(ユネスコ世界無形遺産)に日本からの合唱団として初めて参加する。エストニア語の合唱曲約20曲を参加者とともに歌う。	50万円
徳島邦楽集団	徳島県	学校の部活動等で活躍した若者が、卒業後も活動できる場を作るために1998年に設立された。日本伝統音楽の継承をふまえ、広い視野に立ち、部門や流派を超えて、新しい時代に即した音楽活動を展開するとともに、若手人材の育成を図ることを目的としている。徳島の年1回の定期演奏会のほか県内外での演奏会に出演、育成のためのワークショップも行っている。	大韓民国	招聘 20名 派遣 10名	2019年9月20日～9月23日(4日間) 2019年11月29日～12月1日(3日間)	■韓国日本合同公演(徳島邦楽集団/オウルリム国楽研究会) 2009年にオウルリム国楽研究会と交流協定を結んで以来、相互に往来し、情報交換や演奏者の交換派遣等、積極的にお互いの国の音楽を紹介してきた。10年間の交流の集大成として、徳島と釜山の両地で合同公演を行う。日本の童謡と韓国の伝統曲をメドレーにアレンジした曲も演奏する。	50万円
熊本ユースシンフォニーオーケストラ	熊本県	子どもの頃から本物の音楽に触れ、オーケストラ活動を通してより良い社会人を育てることを目的に1964年に設立された。小学生から29歳までの約70名が在籍している。毎週の練習を最重要の活動とし、その成果を問うために、定期演奏会を年1回開催している。1987年文化庁地域文化功労者文部大臣表彰、2013年第20回志島音楽賞、2015年熊本芸術文化学術振興市民財団奨励賞等を受賞している。	トンガ	招聘 14名	2019年8月5日～8月14日(10日間)	■熊本ユースシンフォニーオーケストラ&TTIオーケストラ交流プログラム トンガ初となるトゥポウ高等専門学校(TTI)のオーケストラを招聘し、定期演奏会で共演。トンガの若者がこれまで体験し得なかった生のオーケストラに直接触れ、未来のトンガの音楽文化発展につなげると共に、同世代の若者同士の共演により国際交流を深める。	50万円

以上 8団体 / 申請総数43団体 助成金合計400万円